

1 学校経営の基本理念

公教育を行う学校においては、学校とそこに職を得ている教職員等の存在意義を全うする学校経営が進められなければならない。国の未来を担う人材の初等教育を行う我々の責務が重大であることは言うまでもなく、学校・教職員等は、生徒のため、社会のため、国のため、世界のために存在しているということを決して忘れてはならない。

したがって、本校においては将来を見通しつつ俯瞰的な視点に立った教育を実践し、予測困難な未来に生きる子どもたちに、人生をよりよく、たくましく生き抜く力を身に付ける学校経営を推進する。

2 学校経営の基本方針

- (1) **岐宿小学校と連携した教育をさらに推進する。**
・小学校との連携を図ることは、未来の岐中生に触れること。数年先の岐宿中学校、岐宿小学校の有り様を見定め、コミュニティー・スクールの充実・形成を図る。
- (2) **認め合い、理解し合い、赦し合う関係づくりを推進する。**
・教育の根幹は人と人(生徒と教職員、保護者と教職員、生徒同士、教職員同士、保護者同士)のつながりであり、信頼無きところにはどんな教育も成り立たない。生徒が納得し、笑顔で終わる指導を徹底する。
- (3) **学ぶ意欲を喚起する授業づくりと学ぶことの意義を見出すキャリア教育を推進する。**
・学力向上は、生徒の「求める心」と教職員の「導こうとする心」があいまってこそ実現する。
- (4) **聴く力、伝える力、笑顔、あいさつを身に付ける教育を推進する。**
・国家及び社会の形成者としてももっとも重要な資質は「他者と関わる力(コミュニケーション力)」である。聴く力、伝える力、笑顔、あいさつはその力を構成する重要なスキルである。
- (5) **問いかけ、待ち、気づき・発見させる教育に徹する。**
・生徒は自ら育つもの。「育てる」意識は薄くてよく、静かに問い、静かに語れば自ら気づき・発見する時がいずれやって来る。
- (6) **部活動方針の徹底と働き方改革の推進。**
・部活動方針の目的は生徒の健全育成。働き方改革の目的は授業磨きと効果的な教育活動の持続である。
- (7) **服務規律の徹底と、不祥事・体罰・暴言の根絶。**
・人は弱い存在であることを自覚し、「自分は起こさない」から「誰にも起こさせない」へ。耳の痛い言葉は守ろうとする言葉である。「隠さない」「ごまかさない」ことが肝心である。

3 学校教育目標の具現



＜(具現化のために)めざす教師像＞

- 生徒の変容を信じ、「赦し」、「恕す」教育を実践する寛容性、人間味あふれる教師
- 絶えず自己の在り方を省み、研究と修養を怠らず、変化・進化する教師

＜(具現化のために)めざす学校像＞

- 笑顔と笑い声にあふれた、安全で安心な環境にある学校
- 「静」と「動」のメリハリがあり、掃除の行き届いたきれいな学校

《重点目標》 「**笑顔あふれる学校**」 **key word** : 自己有用感 達成感 所属感